



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月30日  
上場取引所 東

上場会社名 荏原実業株式会社

コード番号 6328

URL <http://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 久司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 濱野 博光

TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	12,037	6.9	1,512	19.8	1,511	19.0	918	26.4
25年12月期第1四半期	11,262	6.6	1,263	△14.4	1,270	△14.9	726	△18.7

(注)包括利益 26年12月期第1四半期 951百万円 (2.0%) 25年12月期第1四半期 932百万円 (△7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	138.58	—
25年12月期第1四半期	124.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	25,960	8,680	33.4
25年12月期	20,878	7,859	37.6

(参考)自己資本 26年12月期第1四半期 8,680百万円 25年12月期 7,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	4.9	1,000	18.8	1,040	9.4	620	19.5	93.61
通期	29,600	2.9	1,230	8.8	1,290	6.3	770	6.6	116.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	6,715,000 株	25年12月期	6,715,000 株
26年12月期1Q	89,046 株	25年12月期	91,646 株
26年12月期1Q	6,624,294 株	25年12月期1Q	5,830,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）のわが国経済は、円安の定着による輸入物価の上昇、国内主要各社の賃金ベースアップ、消費税増税前の駆け込み需要等を背景に、デフレマインドの転換や景気の先行きに対する懸念が和らいだこと等から、全般的に設備投資意欲の改善につながりました。

当社グループを取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では東日本大震災からの復旧・復興に対する案件の継続や、2020年の東京オリンピック開催に向けた東京湾岸地区再開発等の予算増加が見られました。また、民間分野では円安による輸入電力コストの上昇や地震への備えに対応した省エネ化・耐震化といった案件の増加が見られました。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

- ① 東北地域の震災復興に尽力するとともに、組織及び人員体制の見直しを行い、関西を中心とした西日本地域での販売拡大を目指す。
- ② 栽培・養殖及び水再生分野におけるエンジニアリング事業の強化を行うとともに、開発完了した製品の市場投入を早め、取扱製品のラインナップを増やす。
- ③ 現在建設中の「かずさ生産技術センター」を本格稼働し、公共向け新型プロワの製造と拡販に努める。
- ④ 他社とのアライアンスや外部機関との共同研究を深め、新商材・新販路の開拓に努める。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は61億48百万円（前年同期比9.0%増）、売上高は120億37百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は15億12百万円（前年同期比19.8%増）、経常利益は15億11百万円（前年同期比19.0%増）、四半期純利益は9億18百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

なお、当社グループは受注高及び売上高に占める官公庁の割合が高いことから、通常の営業形態として第1四半期連結会計期間に計上される売上高割合が高く、一方で販売費及び一般管理費はほぼ均等に発生するため、利益が第1四半期連結会計期間に偏るといった季節の変動があります。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントは、受注高においては災害対策向け医療商材やバイオプラスチック緩衝材が拡大したものの、ボエフ脱臭関連製品が低調に推移しました。また、売上高においては前期に大型物件を計上した水産向けプラントの反動減が影響したことから、受注高・売上高ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、当セグメントの受注高は11億99百万円（前年同期比8.0%減）、売上高は26億65百万円（前年同期比18.2%減）、セグメント利益は4億60百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

#### (水処理関連)

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントは、受注高においては東北地域における復旧・復興案件の増加が見られました。売上高は、前期に受注した大型案件の施工が進行基準により段階的に売上計上されたこと等から、前年同期を上回りました。

これらの結果、当セグメントの受注高は22億66百万円（前年同期比38.7%増）、売上高は60億95百万円（前年同期比27.8%増）、セグメント利益は9億4百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

#### (風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントは、東京都内を中心に都市再開発が継続し、国内の老朽化設備の更新に関する設備投資意欲が徐々に回復の兆しを見せているものの、実際の発注には未だ慎重な姿勢が見られ、前年同期ではほぼ横這いとなりました。

これらの結果、当セグメントの受注高は26億82百万円（前年同期比0.8%減）、売上高は32億76百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は3億23百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
環境関連	1,199	92.0	2,576	95.3
水処理関連	2,266	138.7	7,912	199.8
風水力冷熱機器等関連	2,682	99.2	2,963	80.1
合計	6,148	109.0	13,452	129.8

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ50億81百万円増加し259億60百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加22億91百万円、受取手形及び売掛金の増加29億30百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ42億61百万円増加し172億79百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加42億64百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億20百万円増加し86億80百万円となりました。主な要因は、四半期純利益9億18百万円の計上による増加及び剰余金の配当1億34百万円による減少等であります。この結果、自己資本比率は33.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月6日付「平成25年12月期 決算短信」にて発表しました平成26年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,644	3,935
受取手形及び売掛金	10,072	13,002
商品及び製品	648	578
仕掛品	166	166
未成工事支出金	472	146
原材料及び貯蔵品	137	158
繰延税金資産	164	130
その他	207	154
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	13,510	18,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,407	2,412
減価償却累計額	△1,220	△1,238
建物及び構築物 (純額)	1,187	1,173
機械装置及び運搬具	122	122
減価償却累計額	△95	△97
機械装置及び運搬具 (純額)	26	24
工具、器具及び備品	374	384
減価償却累計額	△297	△304
工具、器具及び備品 (純額)	76	79
土地	1,420	1,423
その他	168	343
減価償却累計額	△15	△16
その他 (純額)	153	326
有形固定資産合計	2,864	3,027
無形固定資産		
投資その他の資産	55	52
投資有価証券	2,288	2,436
保険積立金	1,105	1,128
投資不動産 (純額)	693	688
繰延税金資産	10	10
その他	464	463
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	4,447	4,611
固定資産合計	7,367	7,691
資産合計	20,878	25,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,410	12,674
短期借入金	1,300	1,320
未払法人税等	159	592
未払消費税等	43	136
前受金	1,163	666
賞与引当金	-	169
その他	837	618
流動負債合計	11,914	16,178
固定負債		
長期借入金	72	65
繰延税金負債	357	387
退職給付引当金	386	382
役員退職慰労引当金	217	196
その他	70	69
固定負債合計	1,104	1,101
負債合計	13,018	17,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	831	831
利益剰余金	5,400	6,184
自己株式	△111	△108
株主資本合計	7,121	7,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	738	771
その他の包括利益累計額合計	738	771
純資産合計	7,859	8,680
負債純資産合計	20,878	25,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	11,262	12,037
売上原価	8,717	9,244
売上総利益	2,544	2,792
販売費及び一般管理費	1,281	1,280
営業利益	1,263	1,512
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
投資不動産賃貸料	22	18
為替差益	—	0
その他	5	1
営業外収益合計	29	22
営業外費用		
支払利息	3	3
不動産賃貸費用	16	10
為替差損	0	—
その他	1	9
営業外費用合計	22	23
経常利益	1,270	1,511
特別損失		
投資有価証券評価損	82	14
特別損失合計	82	14
税金等調整前四半期純利益	1,187	1,497
法人税、住民税及び事業税	101	534
法人税等調整額	359	44
法人税等合計	461	579
少数株主損益調整前四半期純利益	726	918
四半期純利益	726	918



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	726	918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	33
その他の包括利益合計	206	33
四半期包括利益	932	951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	932	951
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,257	4,770	3,234	11,262	—	11,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,257	4,770	3,234	11,262	—	11,262
セグメント利益	426	739	259	1,425	△162	1,263

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,665	6,095	3,276	12,037	—	12,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,665	6,095	3,276	12,037	—	12,037
セグメント利益	460	904	323	1,688	△175	1,512

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。